

(4) 協調性について

『協調性』では、10課題中6課題において回答傾向に有意な差が認められた。これらの有意差が認められた課題のうち、「身近な人に挨拶する」「ありがとう・ごめんなさい」の2課題については、高等部教員の「できなくてはならない」への回答率は、事業所の回答率を上回った。一方、他の4課題ではいずれも事業所の「できなくてはならない」への回答率は高等部教員の回答率を上回った。

また、「できなくてはならない」に関してその並び順を比較すると「他人の失敗や過失をとがめない」を除き、両者の意見は一致していた。

次に「できなくてはならない」に「できた方がよい」を加えた回答率に注目すると有意差の認められたすべての課題において高等部教員の回答率が事業所の回答率を上回った。

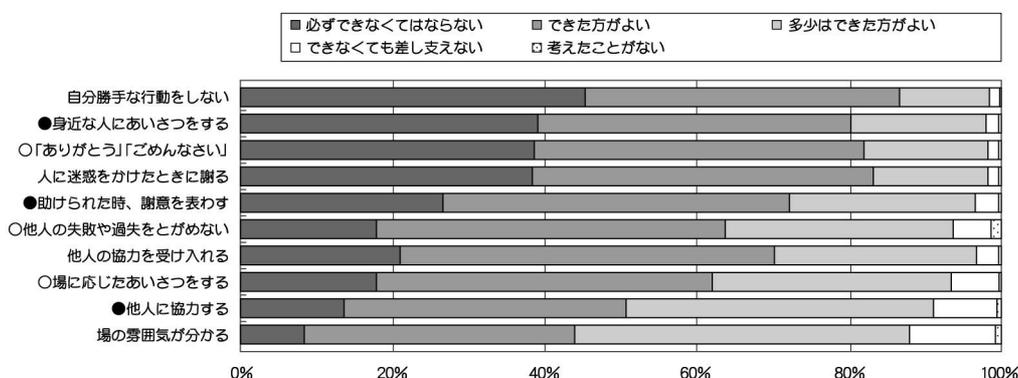


図3-4 (a) 協調性 (事業所)

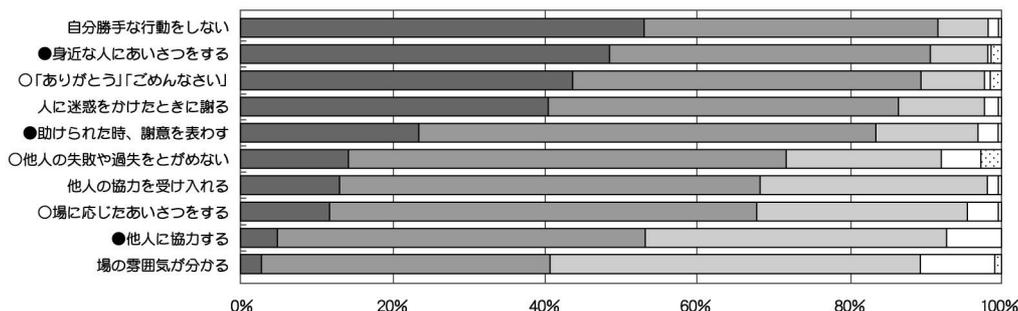


図3-4 (b) 協調性 (高等部教員)

(5) 作業について

『作業』では、6課題すべてにおいて回答傾向に有意な差が認められた。これらの課題では、いずれも事業所の「できなくてはならない」への回答率は高等部教員の回答率を上回った。また、「できなくてはならない」に関してその並び順を比較すると「道具などを正しく使う」を除き、両者の意見は一致